

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	プロジェクト制作3	
科目基礎情報					
開設学科	マンガ・アニメーション科四年制	コース名	キャラクターデザインコース	開設期	後期
対象年次	4年次	科目区分	必修	時間数	90時間
単位数	3単位			授業形態	実習
教科書/教材	課題が開始の際には仕様書を配布する。また内容に応じて素材や参考データを配布する。				
担当教員情報					
担当教員	真村 躍		実務経験の有無・職種	有・イラストレーター	
学習目的					
この授業では、学校で学んだ内容の集大成とも言える卒業制作に向けての事前学習と併せ、これまで学んだ内容や制作した作品のブラッシュアップを実施しポートフォリオの完成度を高める。前期で培った画力や表現力、構成力や思考力を元に、今まで制作した作品をより高いクオリティへと昇華させ、ポートフォリオの内容をより高いものとする。また過去を振り返ることで各自の将来目指している仕事やジャンルを再度自己分析し、卒業制作においてどのような内容で取り組むかを考える。					
到達目標					
過去の作品をブラッシュアップし、作品の完成度をより高いレベルへと向上させる、また業界への情報収集やリサーチを積極的に行い、自分のポートフォリオにおいて足りていない内容の作品を新たに制作する。これらを行うことでポートフォリオの内容をより高いものとし、就職活動だけではなく起業やフリーランスを目指す上でより有利に進められるようにする。そしてこの一連の振り返りを行うことで、卒業制作に向けての方向性を考え企画の準備を行う。					
教育方法等					
授業概要	ポートフォリオを見直すことで、これまでに制作した作品のブラッシュアップや自身に足りていない内容の作品を制作し、ポートフォリオをより高いクオリティへと昇華させる。また振り返りを行うことで各自の将来目指している仕事やジャンルを再度自己分析し、卒業制作においてどのような内容で取り組むかを考え企画準備を行う。 またこの授業はプロジェクトワーク8と連動する。				
注意点	過去3年間と前期の振り返りと現状のポートフォリオをベースに実施するため、制作したデータを整理し授業に参加すること。授業内の時間だけでは100%の作品制作を行うことが難しいので自宅でも制作するようにすること。またフィードバックやリテイクを恐れ講師や教員への確認をしないまま制作を進めることは授業の趣旨に反する為、必ず段階ごとにチェックを受けるようにすること。配布される資料だけに頼るのではなく自分自身で積極的に情報収集、資料収集すること。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができな				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	70%	課題内容を総合的に評価する		
	成果発表 (口頭・実技)	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	自由作品制作課題（1）		ポートフォリオを振り返り足らない作品を新たに制作する		
2回	自由作品制作課題（2）		課題のラフを制作し講師からフィードバックを得る		
3回	自由作品制作課題（3）		課題のラフを制作し講師からフィードバックを得る		
4回	自由作品制作課題（4）		仕上げ作業を行う		
5回	自由作品制作課題（5）		仕上げ作業を行う		
6回	自由作品制作課題（6）		仕上げ作業を行う		
7回	自由作品制作課題（7）		仕上げ作業を行い授業内に提出		
8回	自由作品制作課題（8）		作品講評会を行いフィードバックを得る		
9回	課題のブラッシュアップ（1）		過去の課題作品をブラッシュアップしポートフォリオの再編を行う		
10回	課題のブラッシュアップ（2）		ブラッシュアップ作業		
11回	課題のブラッシュアップ（3）		ブラッシュアップ作業		
12回	課題のブラッシュアップ（4）		ブラッシュアップ作業		
13回	課題のブラッシュアップ（5）		ブラッシュアップ作業		
14回	課題のブラッシュアップ（6）		ブラッシュアップ作業		
15回	課題のブラッシュアップ（7）		ブラッシュアップ作業		